

議会だより

2019.11

No. 59



ぶらっと五個荘まちあるき

Contents

正副議長あいさつおよび新体制表	2
一般質問	3
常任委員会行政視察報告	14
議案の審議結果	15

一般質問

9月11日、12日、13日に21人の議員が一般質問を行いました。質問と答弁の概要をお知らせします。また、議会ホームページでは、インターネットによる動画配信も行っています。



QRコードを読み取ることで、各議員の質問の様子を映像にてご覧いただけます。

Q 少子高齢化の進行や農業でのつながりが薄くなる中で、集落の運営も「人が減って役のない手がない」「婦人会、そして老人会がなくなった。次は自治会か?」「空き家が増え大変」「自治会長3回目」など、自治会長の苦勞も悩みも増えている。2040年問題などが迫ってくる中、行政には今まで以上に集落の実態や自治会長の思い・悩みを直接聞き、認識を共有することが求められている。そんな中、今年度から市政懇話会が、従来の『全自治会長参加の夜間開催』から『まち協と自治連役員だけの昼開催』になる。これは、自治会長が意見を言う場や行政の姿勢を知ってもらう場を失くすことになる。最低でも『従来型』に戻すべきではない。



自治会役員による集落施設の点検作業

90人と大人数のため、議論を深めるまでには至りませんでした。また夜間開催は負担であるとの声も聞かれました。今年度からは「まちづくり懇話会」としてまち協、自治連の役員さんと、市長ほか市幹部職員が双方の負担を軽減しながら、より深みのある懇談の場にしたと考えています。



日本共産党議員団
自治会長の苦勞に寄り添う市政を
廣田 耕康



「人の道に外れまい」

議長 西崎 彰
副議長 西澤 由男

このたび、東近江市議会の議長ならびに副議長の要職に就任いたしました。身に余る光栄に存じますとともに、責任の重大さに身の引き締まる思いです。議会の代表として全力を傾け、公正かつ円滑な議会運営に取り組んでまいります。



令和の時代を迎え、当市においても人口減少、超高齢化社会への対応が求められ、財政面でもますます厳しい時代を迎えることとなります。また、自然災害が猛威を振るっていることから、市議会として、想定外の災害も視野に入れ、安全で市民の皆さまが安心できるまちを目指し、災害に強いまちづくりにより全身全霊取り組んでまいります。

また、地方自治の根幹とも言うべき二元代表制の一翼を担う議会は、常に緊張感をもって行政と議論を重ね、市民福祉のさらなる向上や活力あるまちづくりに努めるとともに、市民の皆さまに信頼されるよう、議員一丸となって議会改革を進めてまいります。

「人の道に外れまい」これは尊敬する先輩議員の口癖でした。常にこの言葉を忘れず胸に抱いて、先輩諸氏が築き上げてこられた東近江市議会をさらに発展前進させてまいります。今後とも、市民の皆さまから温かいご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

新体制の紹介

議長 西崎 彰 副議長 西澤 由男 監査委員 西村 純次

所属する委員会の名称	東近江市民クラブ										太陽クラブ			日本共産党		公明党		新政無所属		無党派					
	山本直彦	青山孝司	鈴木則彦	西村和恭	田井中丈三	森田徳治	西崎彰	西澤由男	西村純次	和田喜藏	市木徹	大橋保治	櫻直美	辻英幸	戸嶋幸司	安田高玄	廣田耕康	山中一志	田郷正	吉坂豊	竹内典子	井上均	西澤善三	大洞共一	
議会運営委員会				●	●					◎	●				○					●	●			●	●
総務常任委員会			●	●	◎			●					●				●			○					
福祉教育こども常任委員会	●					●				●		●			◎				○		●			●	
産業建設常任委員会		○						●	●	●	●	●				●	●						●	◎	
予算決算常任委員会	○	●	●	◎	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
河川整備推進特別委員会		●			●			●		◎						●		○		●				●	
議会だより編集委員会	●	●		○										●	◎		●			●		●			

◎委員長 ○副委員長 ●委員



日本共産党議員団
山中 一志



日本共産党議員団
市民生活を守る予算を！

田郷 正



Q 大津市の保育園児死傷事故などの重大な自動車交通事故が相次ぎ、交通安全対策の強化が急がれている。通学路や園児の移動経路など子どもたちを交通事故から守る対策は喫緊の課題である。

A 通学路は、東近江市通学路交通安全プログラムに基づき、毎年、市立各小中学校から危険箇所を報告を受け、5月から9月にかけて東近江警察署、東近江土木事務所および市関係課が合同点検を行っています。

30年度は、市立小中学校から継続分も含めた50カ所の危険箇所の報告を受け、合同での点検が必要であると判断した17カ所について点検を実施しました。現在、30カ所の安全対策を終え、未実施の箇所についても、引き続き対策を進めていきます。園児の散歩道の点検について



塗り直された通学路の横断歩道

は、大津市での事故を受け、5月に公立・市立各園による安全点検を実施し、7月には、ごども未来部職員も加わり現地調査を行いました。そのうち、危険性の高い交差点など14カ所については、合同点検を実施し、今後、その結果に基づき安全対策を考えていきます。

Q 予算編成方針について、①経常的経費を対象に枠配分方式を採用し、概算見積の要求額をもとに削減する額を算定し各部に配分するとしているが、母子家庭等の児童入学祝金（30年度決算額91万5千円）や交通遺児福祉年金（同263万円の）の条例廃止につながっているのでは。

A ②30年度決算において、企業への立地促進奨励金が1億7747万円支出されている。削減すべきは資本金が1億円以上の企業に対する優遇制度であり、見直すべきでは。

③中心市街地活性化事業は税金を使ってホテルを誘致しただけに終わっている。黒丸PAにスマートICの設置を推進しようとしている。優先すべきは市民生活を守る事業ではないか。

A ①社会情勢の変化と同じ目的の制度創設・充実により所期の目的は達成されたため、条例廃止を行うものであり、福祉予



無党派
あと2年半でどこまで



新政無所属の会
障害者共生社会づくりは

井上 均



Q 29年度から中心市街地活性化事業が始まり、はや2年半が過ぎ、本事業の期間は5年間で決められており、あと2年半となった。しかしながら、現在のところ延命新地地区街なみ環境整備事業のうち道路美化とファサード事業（住宅などの修景）そして駅前市有地の活用が決まっているだけで、計画区域159ヘクタールのほんの一部である。今後どこまで事業が進められるのか。また、具体的な計画はあるのか。

A 八日市駅前市有地の活用方法については、交通結節点の優位性を生かし、民間事業者との官民連携による公募型の施設整備を進める一方で、敷地内に観光バスの乗降場や時間貸しの駐車スペースを確保し、当市の交流拠点として有効活用を図っていきたく考えています。



美化された延命新地

あと2年半でどこまで活性化事業が進められるのかについてですが、これまで古民家再生活

用プロジェクト、すすすく東近江市事業など、様々な事業を進めてきたところです。今後も中心市街地活性化基本計画に基づき、古民家や空店舗を生かした出店支援、道路空間の有効活用、駐車場の整備検討、延命公園の再整備など一つでも多くの事業に取り組むとともに、民間の活動の支援を行っていく予定です。



障害者雇用・女性活躍推進を

Q 女性活躍や多様な人が働く社会の実現に向け、市はどのよ

うにリーダーシップを取ろうと考えているのか。

A 女性活躍推進法に基づき行動計画を策定しており、全職員を対象に、ワーク・ライフ・バランスを推進し、女性がさらに活躍しやすい職場づくりを進めているところです。今後も多様な人材が活躍できる組織風土を醸成し、働きやすい社会の実現に向けて模範となるよう取り組みを進めていきます。



新政無所属の会

遅れている道路整備

西澤 善三



合併後14年以上が経過し、県道や市道、農道に至るまで整備がなござりになっている。特に湖東地区の県道整備について県へ要請しているのか。また、整備の進まない愛知川右岸道路建設には、発行期限が延長された合併特例債が活用できないか。

道路整備への合併特例債の発行期間延長に伴う考え方に変更はありません。愛知川右岸道路整備は県道としての整備を要望していきます。

取り壊した湖東地区の市営住宅跡地や旧湖東保健センターの活用策はあるのか。また、文化財の活用策については、土地の処分に当たっては、



小学校横の危険な県道

まず地元自治会の意向を確認しています。購入者には自治会や周辺住民とトラブル防止のための調整をお願いしていますが、売却後の活用内容の公表はしていません。旧湖東保健センターの有効活用については現在未定ですが、引き続き検討していきます。文化財は保存するだけでなく歴史文化資産を幅広く活用して市の発展につなげます。



東近江市民クラブ

どう守る地域医療

市木 徹



蒲生医療センターは、平成22年に策定された東近江市病院等整備計画を経て、19床の診療所として、県の指導のもと滋賀医大と連携し、地域医療を担う家庭医研修病院として再起を図ると期待された。

しかし、県と滋賀医大の構想に翻弄され、累積赤字額は7年で24億9千万円にもなる。しかも家庭医指導医師は、他の病院に異動され、現在、常勤医は4人に激減し、通院患者数は延べ3万2965人と前年度比マイナス2270人と減少傾向にある。このままでは、運営に苦慮していた10年前に戻ってしまい、取り返しのつかないことになってしまう。県や滋賀医大との医師確保・医師派遣の約束は反故にされてしまったのか。

市独自の政策として、能登川病院での成功事例である指定管理者制度を活用し、医療部門を民間に経営してもらうことにより、地域医療を守り、かつ財政



蒲生医療センターの今後は

圧縮が図れるのではないかと。東近江総合医療センターの診療体制が確立された後に医師配置に尽力いただくことになっているにも関わらず、未だ医師配置に至っていません。蒲生医療センターは、地域密着型医療の大切な施設であり、医師確保や経営改善のためにも指定管理者制度の選択も視野に入れています。



東近江市民クラブ

変わらぬ交流を

西崎 彰



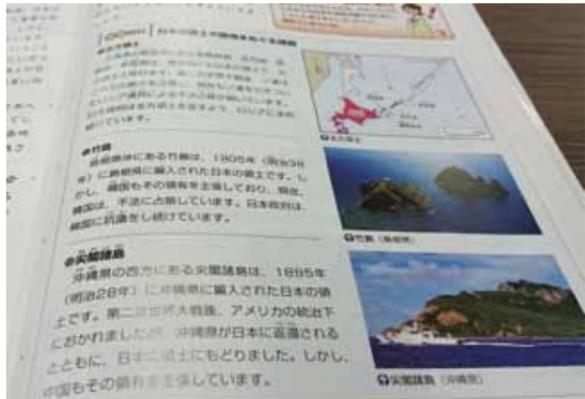
姉妹都市交流の現状と韓国場岩面との交流中止について市の見解は。

現在、5つの都市と交流を行っているっており、今後もお互いの歴史や文化を尊重し、尊敬の念をもって交流を進めていきます。

また交流中止については、「友好親善使節団の派遣中止は大変残念ですが、今後も変わらずこれまで築いてきた歴史ある姉妹都市交流は続けていきたい」との考えは、現時点でも変わることはありません。

竹島問題の教育方針は。

当市で使用している小学校の社会科の教科書には、「竹島は、1905年に島根県に編入された日本の領土です。現在、韓国は不法に占拠しています。日本政府は抗議を続けています。」と記述されています。中学校の歴史公民の教科書には、竹島の歴史からの考察も加え、日本の領土であることを説明し、



小学校6年生の社会科の教科書

1951年に署名されたサンフランシスコ平和条約において日本が放棄した領土に含まれていないことや、日本が韓国の不法占拠に対して抗議する一方で、国際司法裁判所に委ね、平和的に解決する提案を3度にわたって行っているものの韓国がこれを拒否していることなどが記述されており、このような内容に基づいて指導しています。



東近江市民クラブ

市民意識調査を生かす市政を

森田 徳治



市民意識調査について、①結果をどのように見ているのか。②令和2年度の市政運営にどのように生かしていくのか。

「住み心地」などの比較的高い評価を維持できている項目や徐々に評価が向上している項目など様々ですが、それぞれの施策について一定の評価を頂いているものと分析しています。

評価の高い施策は現状が維持できるよう、評価の低い施策は制度の見直しや廃止を行い、新たな取り組みに切り替える検討資料にするなど、今後のまちづくりを考える基礎データとして各部で活用しています。

市道の整備について、①市道鈴宮川線道路改良事業の進捗と今後は。②市道桜川石塔線道路改良事業の進捗と今後は。①詳細設計は完了しており、事業実施に向けて、引き続き地



延伸が待たれる市道桜川石塔線



東近江市民クラブ

西村 和恭

「自治会連合会」って要るの？



Q 自治会長には自治会運営に専念していただき、地域の様々な課題の集約などは、まちづくり協議会が担うべきでは。また、自治会連合会の組織の見直しも必要では。

A 自治会や各種団体などの地域活動に関わる多様な主体がまちづくり協議会に参画し、相互に連携協力することで、地域の課題解決に向け包括的な取り組みを進めることが必要であると考えています。まちづくり協議会や地区の自治会連合会がどういった役割を果たしていくのか、そのあり方や自治会連合会の機能と必要性について、行政と各地区が共に考えていきます。

Q 主要地方道多賀永源寺線の整備に対する市の認識と、県の対応は。

A 地域の生活を支える唯一の道路であるとともに、森林文化の素晴らしさを発信するために欠かすことのできない道路であ



狭くてカーブが連続する多賀永源寺線

ると考えています。

県では、現在、落石防護柵の整備を進められており、継続して待避所などの局所的な整備も計画されています。

今後も防災対策に加え、豊かな森林資源や木地師に代表される伝承文化を活用した地域活性化などに寄与する抜本的な道路整備が実施されるよう、引き続き県に要望していきます。



東近江市民クラブ

鈴木 則彦

ムクドリと江州音頭



Q 今年も中心市街地に飛来しているムクドリについて、今後の対策は。

A 道路管理者である滋賀県土木事務所へ県道八日市停車場線（八日市駅前通り）の街路樹の早期の剪定を依頼し、実施された結果、昨年に比べムクドリの飛来数は大きく減少し、効果があったものと考えています。今後も飛来状況を把握した上で必要に応じて鷹匠や音響による追い払いの検証をしていきます。

Q 江州音頭について、①子どもの頃から地域の文化として教育するべきでは。②文化財としての保護や多方面への有効活用への考えは。

A ①小学校の約3分の1で音楽の授業や総合的な学習の時間に行っています。また、運動会で踊っている学校もあります。②発祥の地として「聖徳まつり」が継続して開催されているのをはじめ、愛好されている方々に



剪定により効果があった駅前通り



東近江市民クラブ

田井中 文三

伊庭内湖・愛知川の環境整備を



Q 鈴鹿の峰から琵琶湖まで続く愛知川水系、風光明媚な伊庭内湖や承水溝を要する大同川水系などは、上水・農地灌漑・産業利用・防火など市民生活の源であるが、その利用を重視するあまり、大切な自然を傷つけている。

①愛知川は瀬切れが起こり有名な鮎が激減しているが、鮎の復活に必要な対策は。

②伊庭内湖は泥の堆積や異常な水草の繁茂が生じているが、国民スポーツ大会を控えた対策は。

A ①愛知川は市を代表する財産で、再び人々で賑わう清流に戻して後世に残す責務があると考えています。天然鮎の遡上時期の瀬切れや濁水対策を、県や専門家と連携して進めています。愛知川内水面漁業振興協議会へのダム設置者の参画についても、今後検討されるものと考えています。

②伊庭内湖の浚渫と水草除去などについては、国スポでの来訪



伊庭内湖を埋め尽くす水草

者に好印象となる対策に努めます。

Q ふるさと納税制度は、過度な返礼品競争で本来の趣旨が歪められている。国に制度改善を求めるときでは。

A ふるさと納税制度は、故郷などを応援したいという納税者の思いを実現するものです。制度の見直しも必要であると考えています。国などの動向を見守りながら趣旨に沿った運用を行います。



東近江市民クラブ

山本 直彦

「近江匠人」募集はじまる!!



Q 物産ロゴマーク「近江匠人」認証制度について、①顧客のメインターゲットは。②明確な認定基準は。③今後の展開は。

A ①商品の特性だけでなく、背景やストーリーを含めて認証する制度であることから、特定の人物像を想定するのではなく、幅広い方々に認証した商品を多角的な視点で評価し購入していただきたいと考えています。②商品の基本的な品質を前提に「人や地域とのつながり」「本物へのこだわり」「未来への継承」を認定基準とし、可能な範囲で数値化することで客観性を持たせています。

③今年度中に認証を進め、来年度から物産展への優先的な出展支援や、冊子の作成などを進める予定です。また、認証を目指す事業者へ研修会を開催するなど、さらなる制度の普及に努めていきたいと考えています。

Q 学校における色覚障害者への配慮について、①教職員への指導状況は。②色覚チェックの使用実態は。

A ①日常的にチェックの色に配慮すること、図画工作・美術の授業で配慮することなど、適切な教育支援を行うよう指示をしています。②31校中8校で使用しています。今後は色覚チェックを使用するように推奨していきます。





東近江市民クラブ

マイナンバーカードを持つとう

西村 純次



Q マイナンバーカードの普及促進について、普及率は全国で約14%と低迷している。国は健康保険証としての利用など令和4年度にはほとんどがカードを持つとしており、今年度中に全ての公務員および扶養家族に取得させるとしているが、

A ①6月末現在、正規職員の取得率は23%です。9月下旬から職員に申請書を配布し、取得の推進を行います。

②自治体ポイントとは。

③メリットを実感できる市独自の取り組みはできないか。

Q ①6月末現在、正規職員の取得率は23%です。9月下旬から職員に申請書を配布し、取得の推進を行います。

②自治体ポイントとは、住民の地域活動への参加などに対して自治体が独自に付与するほか、民間企業のポイントやマイルを交換できるポイントのことで、これを地域の商店や地域の産品を扱うオンラインショップなどで使用できるものです。

併せて、国は消費税率引上げ

に伴う対策のひとつとして、来年度プレミアム付自治体ポイントの実施についても計画されていますが、抜本的な制度の見直しも検討されており、今後の動向を注視していきたいと考えています。

③図書館カードやスポーツ施設利用カードなど公共施設利用カードが考えられますが、新たなシステムの構築が必要ですが実施することはできません。

・皆さんに届いている通知カードです。
・このカードで申請します。
・マイナンバーカード取得までに約1ヵ月かかります。
・役所窓口やパソコンから申請できます。



東近江市民クラブ

スポーツと地域資源と観光政策

青山 孝司



Q 当市は、鈴鹿の山から琵琶湖まで多種多様にわたった素晴らしい地域資源があり、その資源を生かしたスポーツが数多く楽しめる。スポーツをキーワードにした観光政策ができないか。

A 当市では、各種団体が主催するスポーツ大会が開催されており、これらのスポーツ大会で、市の観光PRや物産販売に取り組みんでいます。また、既に宿泊を伴うスポーツ大会や合宿に対する補助制度を設けています。今後、国民スポーツ大会などの大型スポーツイベントの開催が予定されており、宿泊場所の確保が必要となることから、古民家などの歴史的資源を活用した分散型ホテル整備や、滞在時間を延ばすため地域資源を生かした体験型コンテンツの開発など、さらにスポーツと地域資源を生かした観光政策を推進していきます。

Q 国道307号バイパス道路



地域資源を生かしたスポーツイベント

Q AEDの設置は全国的に必須となっている。公共施設はもちろん、工場や商店、商業施設など、人が集まる場所には常に見える場所にAEDの設置が不可欠と考えるが、

A ①全ての公共施設にAEDは設置されているか。また、誰もが目にする場所にあるのか。

②市職員や学校関係者、コミセン職員などを対象に心肺蘇生法やAEDを使用した研修を実施しているのか。また、その受講者数と実施内容は。

③学校のAED設置場所が職員室のため、学校体育施設開放時に緊急事態が生じた場合には、職員室のガラスを割りAEDを使用する旨の指示が出ているが、間違いないか。

A ①多くの人が集まる公共施設には設置しています。また、設置場所については、場所が分かるように明示しています。

②避難訓練時や学校プール開始前、コミセンでの講座などで消



太陽クラブ

AEDの設置場所は適切か

安田 高玄



防職員の指導により訓練用人体を用いてAEDの使用方法や心肺蘇生法の講習を実施しています。受講者数は把握していません。

③AEDは大変高価なものであり、管理上職員室や保健室などに設置していますが、今後、使いやすい場所に設置することを検討します。

Q 昨年、シティプロモーション方針が策定され、その中で「市民の郷土愛（誇りと自信）の向上」を掲げているが、具体的にどう取り組んでいるのか。

A 広く当市の魅力を市民の皆さんに知っていただくため、広報ひがしおうみや市ホームページの特設サイトを使い、活躍されている市民の皆さんや市内の素晴らしい景色、文化など年間を通して紹介しています。昨年は、全コミュニティセンターで巡回写真展を開催することにより市内の風景を身近に感じただけのように取り組みました。そのほか、特に若い世代に魅力を伝えるため、高校生が地域情報誌の紙面を企画・取材する事業や中学生を対象とした市内を巡るツアーなども行っています。

また、今年度は一般財団法人地域活性化センターと連携し、市民の郷土愛の向上に向けた取り組みを戦略的に進め、市職員の意識を高めるため「地域づく



各まち協の広報紙

り人材育成アクションプラン」の策定に向けて取り組んでいきます。

Q 現在14あるまちづくり協議会の枠組み再編の考えは。

A 当市の誕生以降、14地区を基本として各コミセンを拠点にまちづくりを進めており、ようやく軌道に乗ってきたと考えているため、現在のところ枠組み再編についての考えはありません。



太陽クラブ

東近江を好きになろう

戸嶋 幸司



Q がん検診の受診率を向上させるために、厚生労働省が発行している受診率向上ハンドブック



子育てハンドブック「ららら」

Q 本年6月、八日市新川の暫



市内全域で利用できる無料タクシー

Q 子育ての施策やサービスについての情報がわかりにくい。特に、赤ちゃんの予防接種の通知については、タイムリーに携帯電話に通知してほしいという声が多く聞かれる。

A アプリを導入することで予防接種のスケジュール管理や子どもの成長記録ができることも、市が発信するお知らせやイベント情報を必要な時にどこにいても受け取ることができるようになります。当市は外国人の方も多く、多言語にも対応し、子育てサポートに役立つと考えられることから、県内の実施状況を調査し、導入の可否について検討していきます。

Q 令和初となる7月の参議院選挙で当市の投票率は49・24%と50%を割り込んだ。そこで投票率向上のために、

Q 令和初となる7月の参議院選挙で当市の投票率は49・24%と50%を割り込んだ。そこで投票率向上のために、



公明党
子育て情報をスマホで
竹内 典子



公明党
無料タクシー利用で投票率向上
吉坂 豊



太陽クラブ
高齢者を引きこもらせない!!
櫻 直美



太陽クラブ
空き家の増加に歯止めを!
辻 英幸



Q 老人福祉センター延命荘は今年度末に閉館予定である。延命荘の指定管理者である市老人クラブ連合会に、来年度以降の市内全域の高齢者を対象とした健康教養講座事業を委託しては。

Q 30年9月議会で空き家対策について質問したが、

Q 手話は聞こえない人にとって最も使える生きた言語だが、



延命荘でのカラオケ教室

Q 空き家バンクは紹介のみで



Q 必要最小限の改修をして物件を転貸することについてですが、今後の対策の一つとして参考とさせていただきます。

常任委員会行政視察報告

先進事例を学ぶために、各常任委員会で行政視察を行いました。今回はその一部を紹介します。

総務常任委員会

島根県雲南市は人口4万人弱、面積553km²。人口減少も高齢化率も20年先行しているといわれています。地域崩壊の危機を解決するため、小規模多機能自治組織（当市でいうまちづくり協議会）が概ね小学校区単位に結成されています。人口減少・少子高齢化という問題に大変大きな危機感を抱いておられます。

自治会組織では十分に機能しない部分を補完するため、小規模ながらも様々な機能を持ち、住民の参画・協働を主眼とした住民自治に取り組んでおられるのはよく理解できました。当市のまちづくり協議会と比較すると規模的に小さく、小回りが利く反面、役員の人材確保や活動の継続性といった点では不安に感じる部分もありました。

しかし、事業の開始、廃止の選択はすべて住民にあり、そのことが住民参加でチャレンジできる原点であり、現在困っている問題の解決につながっていると感じました。

当市のまち協においても、その時々での困りごとや地域の課題を解決するためには、旧来の行事に捉われず、事業を見直さなければならぬ時期にあるのではないかと感じました。

福祉教育こども常任委員会

千葉県柏市では、フレイルという要介護に至るまでの虚弱の状態を市民が簡単なチェックで早期に発見でき「栄養・口腔・運動・社会参加」の4つの視点から介護予防事業を行うことで、健康寿命の延伸を目指した取り組みを進めておられます。また、フレイル予防サポーター

を養成し、市内で実施するフレイルチェック講座でそのサポートが指導員として従事されるなど、市民が主体となって住民の健康促進を図っておられました。これらは、参加者自身の健康増進を図るとともに社会参加を促すもので、高齢者を支える人づくり、地域づくりを第一の目的として実施されています。フレイルは、適切な介入により健康の維持・改善がみられる状態であることから、早期に自分の状態に気づく機会を数多く確保し、意識変容から行動変容に結び付けることが大切だと考



えられます。当市でも、市民が健康で明るい老後を充実して過ごせるよう、庁内各課の連携を一層密にして、健康寿命の延伸、フレイル予防を目的とした事業を継続して取り組むことが重要だと感じました。

産業建設常任委員会

兵庫県神戸市の千代ダムは当初、台風や大雨での洪水時に安全が図れる洪水調整機能を持たないダムでしたが、現在はその機能を持つダムとして運用されています。当市の永源寺ダムにも活用できないものかと感じました。

兵庫県たつの市では、定期的に空き家を管理する代行サービスや解体費用に対する低金利ローンなどの助成制度がある中で、特に空き家にある残置物の処理費用の一部助成を制度化されており、大いに参考になりました。

岡山県真庭市にある（株）ハッピーファーム・プラスRは、若い経営者が地元地域商社とつなが



り、高収益の露地野菜を中心に栽培されています。特に若い女性の農業未経験者を積極的に採用されているのが印象的でした。当市の若手就農者の育成支援につなげたいと思います。また同市では、地元木材を加工したCLT（直交集成材）が市庁舎や小学校、バス停などに多く使用されています。当市でも永源寺地区の認定こども園で地元木材を加工したCLTの採用が決定していますが、今後さらに地元木材の活用につなげていけるようになればと感じました。

9月定例会 議案の審議結果

○…賛成 ×…反対 (大橋議長は採決に加わらない)

議案等の名称	会派名	東近江市民クラブ											太陽クラブ		日本共産党		公明党		新政無所属		無会派						
		賛成・反対	山本直彦	青山孝司	鈴木則彦	西村和恭	田井中丈三	森田徳治	西崎彰	西澤由男	西村純次	和田喜藏	市木徹	大橋保治	櫻直美	辻英幸	戸嶋幸司	安田高玄	廣田耕康	山中一志		田郷正	吉坂豊	竹内典子	井上均	西澤善三	大洞共一
議案第46号 平成30年度東近江市一般会計決算の認定について	認定	20:3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第47号 平成30年度東近江市国民健康保険（事業勘定）特別会計決算の認定について	認定	20:3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第49号 平成30年度東近江市後期高齢者医療特別会計決算の認定について	認定	20:3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第50号 平成30年度東近江市介護保険特別会計決算の認定について	認定	20:3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第56号 令和元年度東近江市一般会計補正予算（第3号）	可決	20:3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第58号 令和元年度東近江市介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決	20:3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第63号 東近江市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	可決	20:3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第65号 東近江市国民健康保険診療所条例及び東近江市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	20:3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第66号 東近江市母子家庭等の児童入学祝金の支給に関する条例を廃止する条例の制定について	可決	17:5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第67号 東近江市遺児福祉年金条例を廃止する条例の制定について	可決	18:5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第68号 東近江市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決	20:3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第69号 子ども・子育て支援法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	可決	20:3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
会議案第2号 東近江市制記念日を定める条例の制定について	可決	17:6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書案第6号 我が国の国家主権を断固として守るため毅然とした外交姿勢を示すことを求める意見書について	可決	18:5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第1号 「こんな時に消費税10%実施」の中止を求める意見書の提出を求める請願	不採択	4:19	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

その他の議案などは全会一致で認定・可決・同意されました。議案などの詳細は「東近江市議会」で検索してください。

次回 12月定例会

日	月	火	水	木	金	土
11/24	25	26	27	28	29 開会	30
12/1	2	3	4	5	6	7
8	9	10 一般質問	11 一般質問	12 一般質問	13 総務・福祉教育 子ども委員会	14
15	16 福祉教育子ども・ 産業建設委員会	17	18	19 予算決算 委員会	20	21
22	23 閉会	24	25	26	27	28

※ 開会、閉会、各委員会は9時30分から開始します。
 ※ 一般質問は9時から開始します。
 ※ 日程および時間は変更になる場合があります。

議会の見学

東近江市議会では皆さまの傍聴をお待ちしています。
 ご希望の方は、傍聴される当日に東近江市役所3階の議会事務局窓口までお越しください。

テレビ中継

本会議の中継は東近江スマイルネットのコミュニティチャンネルでご覧いただけます。

インターネット中継

東近江市議会では、本会議の模様をインターネットでライブ配信(生中継)・録画配信しています。
 スマートフォン・タブレット端末でもご覧いただけます。

議会だよりの発行

東近江市議会だよりは、2月、5月、8月、11月に発行しています。

東近江市議会だよりに検索



編集委員の紹介

辻	山本	井上	廣田
英幸	直彦	均	耕康
委員	委員	委員	委員
青山	戸嶋	西村	吉坂
孝司	幸司	和恭	豊
委員	委員長	副委員長	委員



11月から、新たなメンバーでの編集体制となりました。
 これからも「手に取りたくなる」「読みたくなる」議会広報紙を目指し、日々研鑽を重ねてまいります。今後とも愛読いただきますようよろしくお願いいたします。

編集後記

日本国中が沸いたラグビーワールドカップ2019日本大会。快進撃を続け、見事に初のベスト8という成績を収めた日本代表の雄姿には、多くの方が勇気ももらい、感動を味わったことだと思います。

中でも、日本代表がチーム作りに掲げたテーマ「ワンチーム」は、大きな注目を集めています。強豪国に勝つためには、異なる言語や文化が集まる多国籍チームにおいて、日本代表として意識を高め、お互いに意思疎通して同じビジョンを持つことが欠かせない要素だったといえます。また、そのうえで、選手一人一人がみずから判断し、行動する自主性を求めたそうです。これはまさに、当市のまちづくり、そして当議会が目指すべきものではないでしょうか。

各地区が自主的に活動しながら、互いに意思疎通して「東近江市」というチームをどう強くしていくか、各議員が自己研鑽しながらも議員間討議を深め「東近江市議会」をどう作り上げていくか。

勇気や感動以上に多くのことを学ばせていただいたラグビー日本代表チームに、あらためて敬意を表したいと思います。

戸嶋幸司

もっと身近に「議会だよりを



無料アプリ「マチイロ」で「議会だよりの配信サービスを開始しています。市の広報紙や行政情報もご覧になれますので、ぜひご利用ください。

